

校友会総務部会第6回議事録

作成 平成29年12月10日

日時 12月6日(火)13:30～ 東藤沢公民館2階A会議室
出席 木下会長・藤野・大岩・平澤・小村(和)・島田 欠席 内野

- 木下会長 ●11/29 入間連協文化祭 ご苦労様でした。
例年になく時間通り無事終了しました。
●今年もあかわらずか 来年度の体制について
9月27日に三役会を、10月27日には第4回理事会において、来期の体制についてどうするか
討議を行いました
(HPに三役会会議メモ、第4回理事会議事録が掲載されております)
11月7日に3役会議が開催され、アンケートを含め今後のスケジュール決めました

議題

来期の体制について

前回理事会での問題点の抽出

負担と成果のつり合いが取れていない→負担の割に得るものが少ない

・理事の数が多すぎる＝負担が大きい

・会費が高すぎる？

・押し付け的な役割分担を強いられている⇒自発的な役割分担になっていない

→ボランティアベースの校友会活動ができていない。

・連協は大して期待するものはないのに、押し付け的な負担(費用分担も含め)が大きい。
連協側では期をまたいだクラブ活動ができないかと模索は始めたが・・

新組織での活動

新しい体制案が服部副会長より提案されました(HPを参照してください)。

<新組織 基本スキーム>(原案)

・5-10名程度の世話人を置く、世話人は自主的に立候補あるいは推薦によりなる。

その任期は定めない。

・代表世話人(会長)を選ぶ、代表の任期は1年とする。月1回程度に世話人会を開く。

・年会費を当面500円/年とするが、次年度以降は実績を見て見直す。

・班活動・クラブ活動はそれぞれの自主性に任せる。本会の活動の中心になる。

・新しいクラブの設立を奨励する。

・全体行事は総会のみとし、年1回開催し、世話人、予算決算などの承認を行う。

提案があれば、全体行事行うが、行事ごとに世話人チームを募り実施する。

ポウリング大会・学習会・BBQ大会・バス旅行などが想定できる。

・HP(電子メール)を連絡の手段とし、郵送などの方法は用いない。

HPにアクセスできない会員は、連絡のため、アクセスできる会員を選んでおく。

- ・なお、新しい組織は、その目的、組織内容(陣容・予算)から、県連協、入間連協には
参加しません。

今後のスケジュール

12月6日(水)アンケート(意思確認・来年度の所属組織希望調査)原案を作る。

12月10日(日)までに 各班連絡員にアンケートを送付すると同時にHPにも載せる。

12月25日(月)締め切り。(12/26～30日までに集計)

1月19日(金)臨時理事会(場所・時間は後日決定通知)

1月30日(火)に臨時総会を開催し、各個人の意向確認。

アンケート内容

問：来期、あなたはどのように、交友会活動に参加しますか。

該当する欄に1つだけ○をして下さい。

① 現9期校友会会員を続ける。 ()

② 新しい組織に参加する。 ()

③ 両方に参加する。 ()

④ 両方から離れる。 ()

⑤ その他、ご意見がありましたらご記入ください。

()

なお、班活動、クラブ活動はこれまで通り、それぞれの自主性にまかされる。

(現行通り会員でなくとも活動に参加できます)

以上